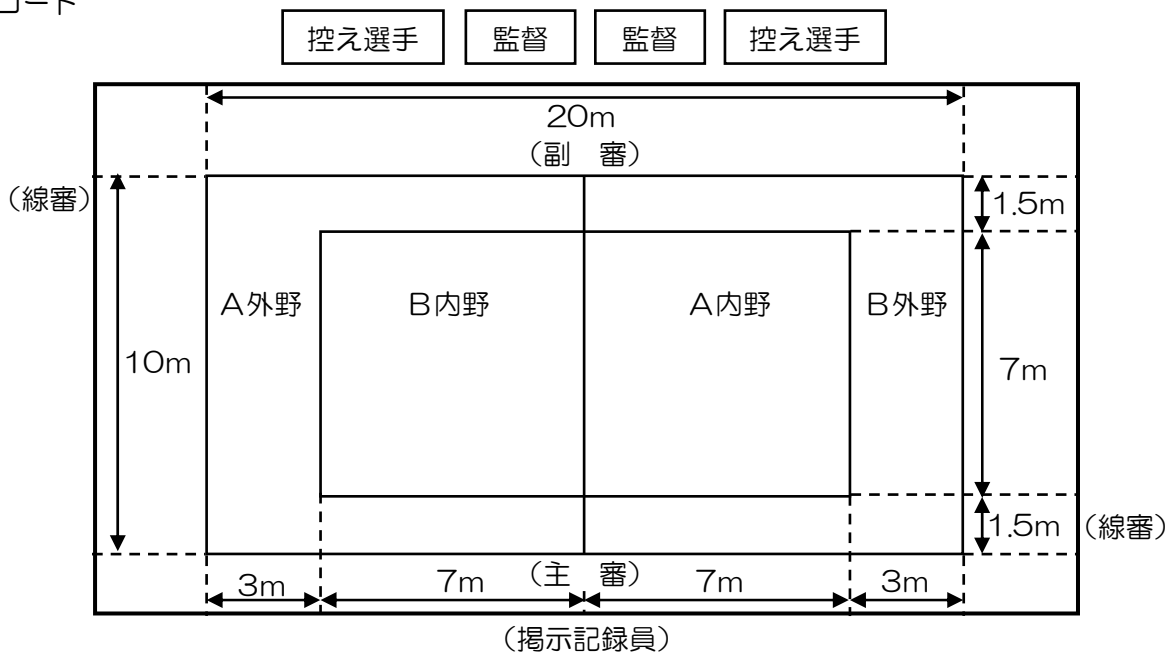


第23回大東市こども会スーパードッジボール大会 実施要項

1. 目的 スーパードッジボール大会を通じてこども会相互の親睦をはかるとともに、心身を鍛え、こどもの健全育成に資することを目的とする。
2. 主催 大東市教育委員会、大東市こども会育成連絡協議会
3. 協力 大東市青少年指導員会
4. 開催日 平成31年2月10日（日）
開会式 午前8時45分（受付 午前8時00分から）
5. 会場 大東市立市民体育館
6. 参加資格 各単位こども会会員で、小学校低学年（1年～3年生）。
7. チーム編成 選手10名以内、監督・コーチ・マネージャー各1名以内（ただし監督は必須）とし、チームを編成する。
8. 参加チーム数 原則単位こども会より1チームとする。ただしブロック内での調整可、各ブロックの単位数まで出場することができる。
9. 表彰 優勝（優勝旗・賞状・メダル）
準優勝（楯・賞状・メダル）
3位（賞状・メダル）
チャレンジトーナメント優勝（賞状）
チャレンジトーナメント準優勝（賞状）
10. 審判 市こ連理事及び事業協力員
11. 選手等登録 ①申し込みは、別紙登録用紙に必要事項を記入の上、下記に提出すること。
青少年協会事務局：大東市立生涯学習センター「アクロス」1F 青少年ルーム
TEL：072-874-5165
(FAX可) FAX：072-886-3152
※FAX送信後、青少年協会事務局に電話確認をお願いします。
②登録締め切り日は、1月21日（月）とする。
12. 抽選会 ①2月7日（木）午後7時30分より 市こ連理事会で行う。
②ブロック長による代理抽選とする。
13. 競技規則
 - ◇競技人数 7人制とする。（5人以上参加可能。ただし、対戦チームの人数は合わせない。）
 - ◇試合時間 1セット5分間。3セットマッチ。（2セット先取し勝利が確定した場合は、3セット目は行わない。）
 - ◇使用ボール 主催者準備ボールとする。（ミカサ製 2号試合球）
 - ◇集合・待機 試合開始の15分前に、チームは大体育室内控え場所にて集合しておく。
 - ◇応援 2階観客席のみとする。（最前列は応援専用席）
 - ◇コート



◇審判への抗議は一切認めない。

◇競技手順

- ①あいさつ センターラインをはさんで両チームの選手が握手であいさつする。
- ②選手の配置 内野4名、外野3名。(7名以下の場合は、外野人数を減らす)
- ③開始
 - ・センターマークで審判によるジャンプボールによって試合開始。
 - ・ジャンプボールの当事者は、1球目のみヒットの対象とならない。
- ④勝敗の決定
 - ・時間内に相手チームの選手全員をヒットすれば、そのセットは勝利。
 - ・全員ヒットできなかった場合、ハチマキの残員数にて決定する。ハチマキの残員数が同数の場合、そのセットは引き分け。
 - ・決勝トーナメント進出は、勝ち点制による予選リーグの上位4チームとする。チャレンジトーナメントは予選リーグ5位以下の全出場チームで行う。勝ち点が同点の場合以下の順で順位を決定する。
 - ・勝ちセット数の多いチーム。
 - ・全試合のハチマキ残員数の多いチーム。
 - ・直接対決の試合で勝ったチーム。
 - ・代表者3名によるじゃんけんで勝ったチーム。
 - ・決勝トーナメント、チャレンジトーナメントでフルセット行って同点の場合は、3セットを通じてのハチマキの残員数で勝敗を決する。トーナメントでフルセット行って同点で、なおかつ3セット合計のハチマキの残員数が同じ場合は、ジャンプボールで延長して、最初にヒットしたチームが勝ちとする。

◇審判

主審1名、副審1名、線審2名、計時記録員1名

◇競技ルール

- ①相手の内野選手にノーバウンドのボールが当たった後床に着いたとき又は攻撃チームの選手が反則無くキャッチした時をヒットと呼ぶ。
- ②ヒットの対象になるのは、内野選手のみ。
- ③ボールが当たった後、床に着くか攻撃チームの選手が反則無くキャッチする前に当たった選手はすべてヒットとなる。
- ④ボールが当たった後床に着く前に、味方の選手が反則無くキャッチときはセーフ。
- ⑤ヒットされた内野選手は、すばやくハチマキを副審に渡し、外野に出る。
- ⑥内野をしていない外野選手(ハチマキをしている選手)が交代に内野に入る。
- ⑦外野選手が相手の内野選手をヒットしても内野には戻れない。
- ⑧ヒット者が出た場合はボールデッドとし、ヒットされたチームの内野ボールとする。
- ⑨ボールがコート外に出たときはボールデッドとし、最後に触れた選手の相手チームの内野ボールとなる。
- ⑩ボールデッドになった時は、主審の笛の合図で試合を再開する。
- ⑪選手交代は、1セット内では認めない。
但し、「けが」及び「体調不良」の場合はこの限りではない。
- ⑫タイム要求は、1試合につき2回。(1回につき20秒以内)
- ⑬ラインを越えて逃げ回ってはいけない。
- ⑭相手コートに転がっているボールは取ってもよいがラインを踏んだとき、超えたときは反則となる。
- ⑮セットごとにコートをチェンジするが、ベンチは移動しない。
- ⑯監督、コーチ、マネージャーは必ず成人とし、ベンチに成人がいなくなった場合はそのチームの負けとなる。

◇反則

以下の反則をしたときは相手チームの内野ボールに権利が変わる。

- ①ボールを持ってコートのラインを踏んだとき、越えたとき。
- ②パス回しは3回までで、4回目のボールを味方選手がキャッチしたとき。
(インプレー中は内野どうし、外野どうしの手渡しもパスとしてカウントする)
- ③ラインを越えて逃げ回った回数が3回目になったとき。(2回目までは注意とする)

(裏面に続く)

◇補足事項

- ①床にワンバウンドして当たった時は、ヒットにならない。
- ②顔、頭部（首から上）に直接投球が当たった場合は、ヒットにならない。
（但し、ヘッドイングのように自ら当たりに行った場合を除く）
- ③ボールを蹴ったりしてはならない。
- ④こけている選手に思いっきり当ててはならない。
- ⑤ボールデッド後、主審が合図する前にボールを投げてはいけない。
- ⑥主審がタイムの宣言をしたとき意外はボールデッド時にも時計は止まらない。
- ⑦監督からのタイム要求はボールデッド時に限る。
- ⑧競技フロアへ下りることができるのは、登録した選手と監督、コーチ、マネージャーのみとし、ゴム底の体育館シューズを必ず着用すること。
（裸足、スリッパでの競技フロアへの入場は禁止とする）

14. 服装・持ち物

- ・服装は、特に定めない。頭にハチマキをすること。
- ・体育館シューズを持参すること。（競技フロア内は必須）
体育館シューズを着用していない場合は、競技フロアへの立ち入りを禁じる。

15. その他の注意

- ①試合開始までにチーム毎に準備運動を行っておくこと。
- ②試合中に負傷した可能性のある場合、看護師さんに診てもらうこと。
- ③怪我をした場合は、極力当日に病院で受診を行うこと。
- ④出場全チーム、閉会式まで参加すること。
- ⑤練習の場所はないので、ボールは持参しないこと。
- ⑥他の利用者の迷惑になるので、館内を走りまわらないこと。
- ⑦ごみは各チームで必ず持って帰ること。